

「全鍍連」 2025年 9月号 巻頭言

全鍍連経営担当副会長 清水 謙一 (株)清水鍍金 代表取締役)

「鍍金業界の未来を見据えて」



全国鍍金工業組合連合会の皆様、日頃より全鍍連活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この度、経営委員会担当副会長を拝命いたしました愛知県鍍金工業組合副理事長の清水です。微力ながら、皆様の発展に尽力してまいりますので、温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

さて、鍍金業界は長年に亘り、日本のものづくりを支えてきた重要な基幹産業の一つです。表面処理技術は、自動車、電子機器、建築部材、さらには医療機器など、あらゆる分野において不可欠な役割を担っており、見えない価値を創造する技術ではないでしょうか。

現在、私たちは国内外の様々な問題に直面しております。国際情勢の不安定化、原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇、そして国内においては少子高齢化に伴う人手不足など、挙げればきりがありません。これらの課題は、鍍金業界にとっても決して看過できない喫緊の経営課題として重くのしかかっています。

しかし、このような厳しい時代だからこそ、業界が持つ真価が問われていると強く感じています。めっき技術は、あらゆる産業の基盤を支える不可欠な技術です。高度な機能性付与や環境負荷低減への貢献は、今日の持続可能な社会の実現に不可欠であり、その重要性は今後、ますます高まっていくでしょう。

私たちが直面する課題を乗り越えるためには、まずDXの推進が不可欠です。生産性向上、品質安定化、コスト削減に繋がるデジタル技術の積極的な導入は、企業の競争力強化に直結します。また、AIやIoTといった先端技術の活用は、新たな価値創造の可能性を秘めています。

次に、人材育成と確保は喫緊の課題です。熟練の技術者の高齢化が進む中、若手技術者の育成と確保は業界全体の持続的発展に不可欠です。魅力ある職場環境の整備、OJTやOff-JTを通じた技術継承、そして多様な人材が活躍できる柔軟な働き方の導入など、多角的な取組が求められます。

経営委員会としては、これらの課題に対し、皆様が具体的な解決策を見出せるよう、情報提供や研修機会の創出、さらには業界内外の連携強化に尽力してまいります。個社の努力はもちろんのこと、皆で知恵を出し合い、協力し合うことで、より強固な業界基盤を築き上げることができると確信しております。

未来を見据え、私たちのめっき技術が社会に貢献し続けるために、皆様と共にこの難局を乗り越え、持続可能な発展を遂げていくことを心から願っております。

最後に、全鍍連とともに皆様が益々発展することを祈念して、締めくくりとさせていただきます。